



在京古高同窓会会報  
**第60号**  
 〒352-0031  
 新座市西堀2-17-37  
 在京古高同窓会事務局  
 ☎・FAX (042) 494-1598  
 URL: http://在京古高同窓会.com  
 Email: skyoji@jcom.home.ne.jp  
 発行責任: 大友 文博  
 編集長: 亀井 明  
 印刷: (株)ケーヨー

### 新しい年を音楽で

会長 鹿野 軍勝



皆様、新年明けましておめでとうございます。平成も30年と節目の年を迎えましたが、皆様におかれましては、この新しい年を心穏やかな喜びをもって迎えられたものと思っております。

節目と申しますと、我々の母校宮城県古川高等学校は昨年創立120周年を迎えました。120年と言いますと、連続と続いてきた伝統の重みを感じるとともに、大崎地方の若人の教育に少なからざる役割を担ってきた古川高等学校で多感な3年を過ごしたことを誇りに思っております。

11月2日の記念式典は、盛大ながらも暖かい雰囲気の中で行われ、続いての記念講演では、同窓で東大名誉教授・名大客員教授の荒川忠一先生が「風力発電の国内外の最新動向と日本の探るべき方向性」と題して、学問に対する情熱が溢れ出るような話をされました。

来る1月27日(土)の四校合同新年会は、我が古高が幹事校に当たっておりますが、古高出身の若

い音楽家を中心とするグループが楽しい歌声を届けてくれることになっております。是非元気なお顔を見せてくださるようお待ちしております。

さて、昨年は色々な出来事が起こりました。今年も色々な事が起こることでしょう。思いつくままに取り出してみましょう。何といたっても、北朝鮮による度重なる挑発とそれに対する対応・備えという「緊張関係」が日本を重苦しく覆っているのが気にかかります。北朝鮮は、大陸間弾道ミサイル・核弾頭の開発という目標を断念する気配を見せておらず、米国や日本はあくまでもこれを阻止したいと思っております。この「緊張関係」は今後も続いていくことになるでしょう。北朝鮮が目標を達成するのが先か、その前に圧力が効いて資金・資材などの手詰まりで一時断念するか、といった時間との競争になっているような気がします。

国内に目を転じますと、都議選あり、衆議院選挙ありと、目まぐるしく物事が動いたように見えましたが、結果としては安定志向的な流れに落ち着いたような気がしています。他方で、景気が良いといわれている割には賃金が上がらず生活も苦しいという閉塞感が漂っています。過労死の問題や働き方の問題もいろいろ議論されています。海外にいる時、「どうして日本人はあんなに夜遅くまで働く

### 在京同窓会メモ

- ・会計年度は4月-翌3月、年会費は2,000円です。振り込み用紙が同封された方は会費納入をお願いします。
- ・会の健全運営のため、賛助金のご協力をお願いします。
- ・次代会報第61号は2018年6月1日発行予定、原稿は常時受付。

のか? 楽しみは? 家族は? 休暇は?」と言われることがしばしばありましたが、本当にどうしてなのでしょうか?

もう一つ気になることがあります。神戸製鋼・日産など日本を代表するようなメーカーによる品質を保証するための検査における不正の問題です。何とか立ち直ってほしいと願っています。

暗い話題が多かったようですので、少し明るい話をしましょう。それは、日本生まれの英国人作家カズオ・イシグロさんのノーベル文学賞受賞のことです。近くの区立図書館でもノーベル文学賞コーナーを設けていますが、イシグロ作品は予約がいっぱいで、絶えず図書館を離れている状況のようです。

個人的なことで恐縮ですが、80年代の後半に、ロンドンでイシグロさんにお会いしてお話をしたことがあります。イシグロさんは、とても礼儀正しく、綺麗な英語を話され、誠実な感じを受ける方でした。加えて、繊細で豊かな感性をお持ちの方と見受けられました。イシグロ作品の翻訳者の一人の土屋政雄さんとは学生時代の知り合いで、今回のノーベル文学賞の発表は個人的にはとても嬉しいニュースでした。余計なおしゃべりをしましたが、1月27日(土)の新年会でお待ちしております。どうぞお元気でお越しください。

### ご挨拶

創立百二十周年記念式典を終えて

古川高等学校長 金 和宏



謹んで新春のお慶びを申し上げます。在京同窓会の皆様には、日頃より本校教育活動の充実のためにご支援をいただき、ありがとうございます。

さて、本校では昨年11月2日に「創立百二十周年記念式典」を挙行了しました。県教育委員会教育長高橋仁様、本校同窓生でもある県議会議長中島源陽様、在京古高同窓会会長鹿野軍勝様をはじめとして、60名近くの来賓の皆様にご出席いただき、本校体育館で取り行いました。

挨拶の中で、伊藤貞嘉同窓会会長は、グローバルとインターナショナルの違いに触れながら、「高い志を持って世界を視野に活躍してほしい」と生徒にメッセージを送りました。続いて、長年にわたり本校の教育にお力添えをいただいた前同窓会長渡邊義之様、歴代の校医・薬剤師、歴代の父母教師会会長の皆様に感謝状を贈呈しました。高橋教育長と中島議長からは、「歴史と伝統ある古川高校が学び、将来社会のリーダーとして活躍することを期待する」「今を大切に古高での三年間を充実させ、社会のために貢献してほしい」と温かく心のこもった祝辞を頂戴しました。また、生徒を代表して生徒会長の早坂峻輔君が、「百二十周年を節目として、古高生一人一人が古き

良き伝統を受け継ぎながらも、新たな古高魂を胸に未来への一歩を踏み出し、故郷の発展に寄与する人間に成長していくことを誓う」と力強く表明しました。

さらに式典のフィナーレを飾って、全校生徒による校歌の「混成四部合唱」が披露され、美しいハーモニーが会場内に響きわたりました。最後に、応援団新田团长と女子初の前副团长の指揮で、凶南歌を全校生徒で斉唱し、母校の発展を願ってエールを送りました。会場内は大きな拍手に包まれ、感動の渦で満たされました。男女共学となつてから13年目を迎え、古高生の今の姿を内外に示す良い機会になったと考えています。

式典に続いて、高校22回生で東京大学名誉教授・名古屋大学客員教授の荒川忠一氏による記念講演が行われました。高校時代の思い出や東京大学を志した経緯を織りまぜながら、「風力発電の国内外の最新動向と日本の探るべき方向性」と題して、ご専門の流体力学の研究や風車の開発、風力発電の普及促進等について、グローバルな視点で最新動向についてご講演をいただきました。

質疑では生徒から問題の本質に迫る質問が出るなど、百二十周年記念にふさわしいすばらしい講演会となりました。講演の最後あたり、荒川先生は、「若い皆さんには、柔軟かつ新鮮な感性を活かして新しいジャンルに果敢に挑戦していくことを強く期待する」と熱く全校生徒に語りかけました。

以上、記念式典の報告だけになってしまいました。生徒の活躍の様子は本校のホームページに随時掲載してまいりますので、ご覧いただければ幸いです。結びに、在京古高同窓会のおますますのご発展と、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。

# 新年のご挨拶

古川高校同窓会

会長 伊藤 貞嘉



本部同窓会事務局日より

在京同窓生の皆様、明けましておめでとございます。私は、昨年8月の総会において、同窓会長を拝命いたしました。身に余る光栄であり、かつ、重責であることを認識しております。渡邊前会長を始め同窓会の皆様のご支援をいただきながら、母校の益々の発展のためにしっかりと支援していきたくと思っております。よろしくお願いたします。

昨年わが母校古川高校は創立120周年を迎え、11月2日に盛大に記念式典ならびに講演会を行うことができました。鹿野軍勝会長をはじめ、在京同窓会の皆様にも出席をいただきました。ありがとうございました。記念式典では、校歌の混声四部合唱が行われました。とても美しい歌声で、胸を打つものがありました。男女共学だからこそ可能になったものでした。記念講演は、東京大学名誉教授、名古屋大学客員教授の荒川忠一氏(高22回)による「風力発電の国内外の最新動向と日本の探るべき方向性」と題するものでした。学問の面白さを熱心に語ってください、在校生にもそれが伝わったようでした。また、創立120周年記念事業の一環として、記念誌と応援垂れ幕を

作成しました。本事業には多くの同窓会の皆様からご厚志を頂き、充実したものになりました。心から御礼申し上げます。

また、記念式典と講演会が終了した2、3日後に鹿野軍勝会長が秋の叙勲で「瑞宝中綬章」を受賞する旨の嬉しいニュースがありました。心からお祝いを申し上げます。

同窓会報等で報告されていますが、昨年は東京大学に現役で合格するなど、学業も伸びており、また、部活でも山岳部男子が37年ぶりでインターハイに出場するなどの活躍が見られています。古高生が文武両面で活躍するように期待し、支援していきたいと思っております。

同窓会事務局体制ですが、現在は先生方に依存しております。事務局体制を強化しながら、より充実した同窓会活動及び母校の支援を行うことができますように役員会で議論しております。そのためにも、多くの同窓会生に母校の情報が届くように検討を進める予定です。

現代は、物や情報の移動に国境がなくなり、否応なく流れ込んでいきます。所謂グローバルゼーションで、これは、誰もとめることができません。一方、似て非なるものに国際化があります。国際化はただ単に他国の言語や文化を取り入れるのではなく、自己(所属する社会)を認め、その上で、他者との違いを理解、尊重して、国際社会、人間社会のために行動をとる見識こそが、真の国際性です。国際性は知識を学ぶことでは養えません。古高は質実剛健の伝統で、多くの優れた人材を輩出しています。古高同窓生として誇りを持ち、今後も古高の発展のために同窓会としての支援を強化していきたいと考えています。よろしくお願いたします。最後にありますが、在京同窓生の皆様方の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。(昭47年卒)

# 近況報告

事務局長 遠藤 直樹



在京同窓会の皆様、新年あけましておめでとうございます。

はじめにこの度の鹿野軍勝在京同窓会会長の瑞宝中綬章受賞おめでとうございます。長年のご功績に対する栄えあるご受勲、心からお祝い申し上げますとともに在校生、卒業生一同大変誇りに思います。

去る11月2日に、古川高校創立120周年記念式典が挙行されました。式典では、伊藤貞嘉同窓会会長、中島源陽宮城県議会議長のお二人から当時の古川高校での思い出や在校生への期待などを含めたご祝辞から始まり、次に渡邊義之同窓会会長をはじめとした顕著な功労のあった方への表彰が行われました。

そして式典の締めくくりには男子校時代とひと味違った男女混声四部合唱の校歌と男女応援団による凶南歌を披露で幕を閉じました。また、記念講演では荒川忠一(東京大学名誉教授)から「風力発電の国内外の最新動向と日本の探るべき方向性」と題し、

風力発電第一人者の見地から日本における風力発電の今後の大いなる可能性について講演いただきました。本部同窓会の120周年記念事業といたしましては記念手ぬぐい・横断幕作成と3B講義室へエアコン設置の目録を贈呈しております。エアコン設置につきましては、夏の厳しい暑さにおける学習環境を少しでも快適にという思いからご寄付いただいた篤志で設置致しました。多くの同窓会会員の皆様からのご寄付大変ありがとうございました。

本年度の同窓会総会は8月5日に開催され、約150名のOBの方々にご参会いただきました。記念講演は、新たに就任された東北大学医学部教授・理事の伊藤貞嘉同窓会会長から「一期一会」と題し、古川市民病院勤務時代に指導いただいた医師との運命的な出会いからアメリカ留学に至った経緯、また留学先で多くの方々との出会いから研究を進めて行く中で、新発見につながり、栄えある賞の受賞に至ったことなど「一期一会」の大切さが感じられる講演をいただきました。

本校生徒の夏以降の活躍ですが大きな成果がありました。夏のインターハイにはソフトテニス部と山岳部が出場し、またみやぎ全国総合文化祭2017の弁論部門で優秀賞(4位)の成績を取めました。また、新人大会に目を向けると、陸上部女子400mHで県新人大会1、2位独占、東北大会優勝、またU18日本陸上競技選手権大会6位入賞と全国大会入賞を果たしております。ソフトボール部も県新人大会で優勝し、3月に行われる全国選抜大会に出場を決めました。これから控えている各部の新人戦も期待されるのであります。

最後に同窓会会報111号で報告したとおり、古川高校同窓会本部役員の変更があり、新体制でのスタートをおこなっております。これからの活動に協力をお願い致します。(昭61年卒)



120周年記念式典

複雑な税務問題の相談に応じます

税理士鈴木博事務所

税理士 鈴木 博 (昭和46年卒)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-5-1 第37森ビル1階

(虎ノ門合同事務所)

TEL 03 (3433) 0481 FAX 03 (3433) 0493

E-mail : hiro0917@toranomom-ssta.com

BIPは、企業様と共に事業開発・経営改善に取り組み、第2・第3の成長を創るパートナー



Business Integration Partners  
BIP株式会社

昭和42年卒

代表取締役 佐々木 昭美

東京本社 東京都中央区日本橋1丁目2-10 東洋ビル6F

TEL: 03-5542-1417 FAX: 03-5542-1418

東北事業所 宮城県仙台市青葉区中央1-2-3 仙台マークワン19F

TEL: 022-208-9322

E-mail: info@bi-p.co.jp

URL: http://www.bi-p.co.jp

平成29年度  
総会報告

平成29年度定時総会開催

6月24日上野精養軒

一昨年、平成28年度在京古高同窓会定時総会に初めて参加しました。きっかけは同期の在仙同窓会、そして今回の定時総会と出ています。いつの間にか在京古高同窓会の新任幹事にも健ちゃんとなつてしまいました。それが今回私の総会感想文へと繋がります。いつも二次会まで参加しますが、一見「酒飲みで声ツボのおつきい、おやずっこども」の諸先輩、その多種多様な魅せられてしまいます。古高の生み出す人材のすごさを肌で感じる事ができます。

是非若手の在京古高OBにも、これを感じてほしい、また交流を深めてほしいと思います。共学になつて10年、そろそろ女子OBの参加も期待します。古高は今年度創立120周年、その伝統と歴史が生み出した人材が世代を超えて出合い、お互いをさらに高められる、そんな会に在京古高同窓会はなれます。しかし同窓会も「おやずっこ」は「おずんつあん」へと高齢化は間違いない進んでおります。今すぐ若手の皆さんの積極的な参加が必要です。

「早く、おやずつこの話す聞ぎさ来てけらいん、待つてから」前置きが長くなりましたが、今

回の定時総会の話に移ります。定時総会・懇親会は6月24日(土)上野精養軒で行われました。総会の部は、平成11年卒菊地宏幸さん議長で、議案審議は議案すべて承認され、滞りなく終わりました。

講演の部は昭和46年卒の東京大学教授、今川和彦さんの「クローン動物」の演題で行われました。「繁殖、オスは大変だなや。男はつらいよってかあ」感想です。



講演者 今川和彦氏

最後に宴会の部です。卒業年度ごとのテーブルに着くが、今年も一番若いテーブル。それがなんと昭和47年卒以降でひとまとめ、60歳でも若手ってかあ。若い人、参加してける。平成卒業のテーブル作っぺや」このOBの声を是非若いOBに届けたい。

今年には平成19年卒の音楽家、佐藤直幸さんから歌のプレゼントがありました。サラブライトマン来日ツアーにバックコーラスとして参加しています。素晴らしい歌声でした。

その後、恒例の図南歌斉唱、エール、そして本部同窓会長の渡邊さんが先導する応援歌野球部の歌、球技部の歌と古高名物応援「守れ

山の神」と続きました。「渡邊さん、凱歌を忘れていませんか。凱歌がないと締まんねよ、来年は忘れねでけらいん」と書き添えておきます。今年も多種多様な人たちとの楽しい会話、大先輩からの「ありがたい話」と会場は熱気に溢れ、みんな古高時代の顔に戻っていま



同期生達と



築高の方と我が同窓生

した。古高を通して出来たこの絆を大切に、続く世代に繋いでいかなければならぬと今この時に強く思います。また来年も元気で会いましょう。若いOBが参加して下さることに大きな期待をしています。(昭48年卒 加藤 敏朗幹事)



若手?の同期生達



中島宮城県議会議長と



東京藝大出身佐藤直幸氏の歌声

平成29年度 定時総会出席者名簿 (敬称略)

- 〔来賓8名〕 渡邊 義之 (同窓会会長 S34卒 東大出身) 伊藤 貞嘉 (同窓会副会長 S47卒 米山出身) 高橋 賢 (教頭 白石出身)  
 直樹 (同窓会事務局長 S61卒 田尻出身) 高橋 英文 (大崎市副市長 S47卒 古川出身)  
 中島 源陽 (宮城県議会議長 S56卒 真山出身)  
 佐藤 公輝 (築高同窓会東京支部 支部長 S39築高卒 築館出身) 鈴木 文章 (築高同窓会東京支部 副支部長 S48築高卒 石越出身)

- 〔会員57名〕 (カッコ内は出身地)  
 昭24 門脇 健 (東大崎) 昭30 曾根 研一 (西大崎) 昭36 齊藤 武宗 (敷 王) 昭42 大友 文博 (田 尻) 昭47 松本 秀健 (三本木)  
 昭26 角田 啓輔 (古川) 昭31 高橋 廣 (小野田) 昭37 藤 宗裕 (古川) 昭44 文 勉 (宮崎) 昭48 木藤 敏朗 (中野郷)  
 昭27 氏家 明朗 (岩出山) 昭32 高平 武 (長岡) 昭38 高橋 高吉 (鳴川) 昭45 文 清 (古田) 昭55 伊加 加藤 (南牛田)  
 佐藤 清勝 (岩出山) 昭33 三塚 正志 (高清水) 昭39 千坂 孝次 (荒川) 昭46 文 誠 (古田) 昭56 亀 佐原 (古田) 昭59 平 1 (古田)  
 中森 高亮 (富永) 昭34 渡辺 吉郎 (志本木) 昭40 後藤 雅正 (宮崎) 昭48 和里 美司 (富新田) 昭60 平 11 (富新田)  
 昭29 中高 清亮 (富永) 昭35 相澤 昭男 (松山) 昭41 藤原 謙一 (古田) 昭49 芳次 政和 (田尻) 昭61 平 19 (田尻)  
 昭30 相原 光相 (色麻) 昭36 大友 正行 (松山) 昭42 森 三森 (宮崎) 昭50 門田 相澤 (中山) 昭62 平 11 (中山)  
 尾崎 光彦 (田尻) 昭37 高橋 俊裕 (富谷) 昭43 笹川 菊々 (古田) 昭51 山今 今 (山今) 昭63 平 11 (山今)  
 門脇 喜代志 (東大崎) 昭38 伊藤 清功 (涌谷) 昭44 山今 今 (山今) 昭52 平 11 (涌谷)  
 門脇 敏明 (東大崎) 昭39 伊藤 清功 (涌谷) 昭45 山今 今 (山今) 昭53 平 11 (涌谷)  
 佐々木 英三 (志荒) 昭40 伊藤 清功 (涌谷) 昭46 山今 今 (山今) 昭54 平 11 (志荒)  
 佐藤 輝久 (志荒) 昭41 伊藤 清功 (涌谷) 昭47 山今 今 (山今) 昭55 平 11 (志荒)

<第1号議案> 平成28年度 活動報告

平成28年4月1日～平成29年3月31日

年月日	活動内容	場所
平成28年 5月7日(土)	在仙古高同窓会総会出席(鹿野会長)	仙台市[ホテル白萩]
5月22日(日)	会報「蛭雪57号」と総会案内発送(会員807名)	信陵会館
6月25日(土)	定時総会、懇親会 講演：大沼直紀氏(S35卒 元筑波技術大学学長) 「あなたの耳は大丈夫?聴力の衰えとその対策」	上野精養軒
7月10日(日)	築館高校同窓会東京支部総会出席 (鹿野会長、曾根副会長、亀井副会長)	KKRホテル東京
8月5日(金)	古高進路懇談会 (鹿野会長、大友・亀井副会長ほか2名)	古川高校
8月6日(土)	本部同窓会総会出席 (鹿野会長、佐々木事務局長、大友副会長、今川幹事)	大崎市[芙蓉閣]
9月9日(金) ～10日(土)	会員交流会「ふるさと探訪ツアー2016」 (白石史跡と旧有備館ほかを訪ねて)	古川～白石～鳴子 ～岩出山～古川
12月18日(日)	会報「蛭雪58号」及び四校合同新年会案内の発送 (会員821名)	信陵会館
平成29年 1月28日(土)	「第24回 旧古川市内四校関東同窓会 新年の集い」開催 (幹事校・古川学園高校同窓会関東支部)	上野精養軒
2月28日(火)	古高同窓会入会式/在京同窓会の紹介(大友副会長)	古川高校
3月1日(水)	古高卒業式出席、並びに「東京蛭雪賞」授与 (鹿野会長、大友副会長)	古川高校

<第3号議案> 平成29年度 活動計画案

平成29年4月1日～平成30年3月31日

年月日	活動内容	場所
平成29年 5月20日(土)	在仙古高同窓会総会出席(鹿野会長)	仙台市[ホテル白萩]
5月21日(日)	会報「蛭雪59号」と総会案内発送(会員799名)	信陵会館
6月24日(土)	定時総会、懇親会 講演：今川和彦氏 「生殖技術の貢献、課題、将来への展望」	上野精養軒
8月5日(土)	本部同窓会総会出席 (高橋顧問、鹿野会長、佐々木事務局長、大友副会長)	大崎市[芙蓉閣]
10月21日(土)	会員交流会「江戸・東京探訪ツアー2017」	深川・清澄界隈
11月2日(木)	古高創立120周年記念式典出席 (高橋顧問、鹿野会長、佐々木事務局長、大友副会長)	古川高校
12月17日(日)	会報「蛭雪60号」及び四校合同新年会案内の発送	信陵会館
平成30年 1月27日(土)	「第25回四校合同新年会」開催(幹事校・在京古高同窓会)	上野精養軒
2月28日(水)	古高同窓会入会式/在京同窓会の紹介	古川高校
3月1日(木)	古高卒業式出席、並びに「東京蛭雪賞」授与	古川高校

- ◎役員・幹事会：信陵会館
- 第1回 H.28年 5月22日(日) 12名  
(会報・総会案内発送、総会運営他)
- 第2回 H.28年10月15日(土) 10名  
(在京・本部総会報告、58号会報発行内容他)
- 第3回 H.28年12月18日(日) 13名  
(会報・新年会案内発送、「ふるさと探訪ツアー」報告、  
四校新年会準備他)
- 第4回 H.29年 3月25日(土) 11名  
(四校新年会報告、定時総会準備他)
- ◎四校合同幹事会：上野ぶんか亭
- 第1回 H.28年10月21日(金)
- 第2回 H.28年11月18日(金)
- 第3回 H.29年 1月20日(金)
- 第4回 H.29年 3月4日(土)
- 古高出席者：鹿野 曾根 児玉 佐々木(恭) 菊地(務)

- ◎役員・幹事会：
- 定例は年間4回、その他必要事案により関係役員・幹事会  
を開催
- 第1回定例5月21日開催：総会運営他
- 第2回定例10月14日開催：総会報告他
- 第3回定例12月17日開催：四校新年会準備他
- 第4回定例3月下旬開催予定：総会準備他
- ◎四校合同幹事会：
- 四校合同新年会(H30.1.27)にむけて、10月下旬から1  
月中旬までの間に3～4回開催する。
- 古高出席者：鹿野 曾根 児玉 佐々木(恭) 菊地(務) 山中

第2・4号議案 平成28年度決算/平成29年度予算案

収入の部

科目	H28年度決算額(円)	摘要	H29年度予算額(円)
年会費	552,000	276人 / 280人	560,000
賛助金	395,000	136人	400,000
広告料	100,000	企業・個人広告	100,000
寄付・祝儀金	0	個人寄付	10,000
雑収入	57,396	四校新年会他剰余金	30,000
収入計	1,104,396		1,100,000
前期繰越金	808,815		882,141
合計	1,913,211		1,982,141

支出の部

科目			
会議費	9,855	役員・幹事会資料他	30,000
図書印刷費	444,192	会報、案内状、封筒他	450,000
事務用品費	17,326	コピー、文具代他	10,000
事務所経費	34,400	信陵会館年間契約料他	20,000
通信費	249,469	会報発送費、宅急便代他	260,000
慶弔費	73,400	東京蛭雪賞、香典他	90,000
旅費交通費	94,920	本部総会、卒業式出席旅費他	80,000
活動費	70,000	ホームページメンテナンス他(古高120周年協賛)	120,000
雑費	37,508	年会費振込手数料他	40,000
支出計	1,031,070		1,100,000
次期繰越金	882,141		882,141
合計	1,913,211		1,982,141

# 『江戸・東京探訪 探訪ツアー2017』

今回探訪ツアー4回目を迎えるにあたり、興味のある方誰でもと募りました結果、本部・在仙・在京古高同窓会は元より、古川黎明及び古川学園同窓会の各関東支部の方々に藤星会の総勢20名(女性2名)の参加を得ました。10月21日(土)は生憎の台風21号の影響で初めての小雨の中の探訪ツアーとなりました。

「深川の芭蕉庵・清澄公園界隈」の探訪というテーマで、清州橋より平賀源内史跡より萬年橋より芭蕉座像公園より清澄公園より松平定信墓所(靈巖寺)より紀伊國屋文左衛門墓所(成等院)と巡りました。盛り沢山の下町史跡を訪ね、いしえに思いを馳せました。改めて江戸東京は観る所が多いですね。次回も楽しい探訪にしたいと思っております。(事務局 昭38佐々木恭次)

- 【江戸・東京探訪ツアー2017】参加者(総勢20名) (敬称略)
- 【本部同窓会】 高橋 賢(教頭) 相澤 信(昭33) 高橋英文(副会長、昭47) 芳賀明洋(昭46) 富田俊郎(教諭、昭62)
  - 【在仙同窓会】 高橋健三(昭30) 堀越五郎(昭30)
  - 【在京同窓会】 門脇喜代志(昭30) 高橋俊裕(昭33) 鹿野軍勝(昭36) 児玉隆行(昭36) 佐々木恭次(昭38) 上野正司(昭39) 菊地 務(昭41) 相澤次雄(昭44) 山中政法(昭44)
  - 【古川黎明高同窓会関東支部】 佐野三千代(昭39) 渡邊やす子(昭39)
  - 【古川学園高同窓会関東支部】 村田征禱(昭38 顧問)
  - 【藤星会】 藤澤藤星(宗家)

## 一二つの思い出 古川学園 昭38年卒 村田 征禱

今年の10月は雨天曇天とスツキリしない日々が続きました。そのような時期に「江戸・東京探訪ツアー2017」の当日も小雨の朝でした。私も参加申し込みをされているので参加しないと迷惑をかけると思い、重い足取りで集合場所、半蔵門線「水天宮駅」近くのロイヤルパークホテルのロビーに向かいました。

このツアーは過去何回か実施されておりますが、私は初参加のため、殆ど初対面の方々ばかりでしたので少々躊躇しておりました。そのような状況を察してなのか、幹事さんから「それではツアー出発前に本月初参加者もいますので自己紹介しましょう」との言葉がありました。皆さんの自己紹介スピーチも言葉少なく、年輪を感じさせるサービス精神に富んでおり興味深く聞き入っております。皆さん昭和10年代?誕生の同世代の方々、中には「大崎なまり?」が抜けない方もおり、懐かしく、その為かそれまで心もち緊張していた心も肩も軽くなったような感じでした。

それぞれの自己紹介の内容と風貌を道々思い出しながら、小雨の中を軽い足取りでツアー出発。私も昭和38年に上京以来54年も過ぎ、その間東京の様々な名所・名跡を殆ど探訪したつもりでおりました。ところが新発見することばかりでした。多々ある探訪コースの中で、後日家族と来たいと思ったところについて述べることにします。

その① 日本の実業家。三菱財閥の創業者で初代総帥。明治の動乱期に政商として巨利を得た最も有名な人物が所有し、岩崎家三代が築いた名石の庭「清澄庭園」。東京のど真ん中に1.5万坪の素晴らしい庭園で、緑陰の水面に歴史を映す、代表的「回遊式林泉庭園」。全国の名石、巨大な石を配した池を巡りながら、フツとその時代を想像してみても、一人で楽しんでおりました。それは皆さんご存知の岩崎弥太郎です(生誕:天保5年(1835年)1月9日)

江戸時代前期の俳諧師。現在の三重県伊賀市出身。幼名は金作。通称は甚七郎、甚四郎。名は忠右衛門宗房。俳号としては初め実名宗房を、次いで桃青、芭蕉(はせを)と改めた。北村季吟門下。

と秋の小雨の中、傘を片手に庭園を探訪なんて記憶に残りますね。心残りには「ツアー後の飲み会」に参加できず、皆さんとの楽しい会話、美味しいジョッキを傾けられなかったことでした。

俳諧(連句)の芸術的完成者であり蕉風と呼ばれる芸術性の極めて高い句風。それは松尾芭蕉です。「松尾芭蕉記念館」の見学で、芭蕉の俳句への情熱、人生を俳諧と共に歩んだ足跡を様々な資料で当時の背景などに触れることが出来ました。

江門時代前期の俳諧師。現在の三重県伊賀市出身。幼名は金作。通称は甚七郎、甚四郎。名は忠右衛門宗房。俳号としては初め実名宗房を、次いで桃青、芭蕉(はせを)と改めた。北村季吟門下。

「俳句」(HAIKU)のユネスコ無形文化遺産登録をめざす推進協議会(有馬朗人会長、元東大総長)が2017年4月24日発足したようです。協議会名誉会長に中曾根康弘元首相が、名誉顧問には鷹羽狩行 俳人協会名誉会長、金子兜太 現代俳句協会名誉会長、ベルギーの俳人で前欧州連合(EU)大統領のヘルマン・ファンロンパウ氏がそれぞれ就任しました。

日本語17文字:世界で一番短く、深く表現する文学作品と評価され、今や国際的に学ぶ人が増加していることもあり、是非、無形遺産登録認定・承認されること期待しております。

当日は台風21号が日本に向かっており、日本は秋雨前線の影響で小雨が降る中、平均年齢70歳?を超えながらも知的的好奇心旺盛な方々

当日は、過去最強クラスと言われる台風21号の影響で、朝から小雨がそそ降る一日でありました。古高教頭先生を始めとして、本部、在仙同窓会、黎明高同窓会及び古川学園同窓会ほか有志の方々の参加をいただき、総勢20名により挙行されました。



大鵬部屋の前にて

## 江戸・東京探訪ツアーに 参加して

昭44年卒 山中 政法

当日は、過去最強クラスと言われる台風21号の影響で、朝から小雨がそそ降る一日でありました。古高教頭先生を始めとして、本部、在仙同窓会、黎明高同窓会及び古川学園同窓会ほか有志の方々の参加をいただき、総勢20名により挙行されました。

探訪ツアーは、集合場所である安産祈願の神社として有名な「水天宮」に隣接するロイヤルパークホテルを午前11時過ぎに出発、墨田川に架かる清州橋を渡って、江戸時代の発明家である平賀源内が電気実験を行ったとされる跡地を見学。その後、葛飾北斎の「富嶽三十六景」や安藤広重の「名所江戸百景」にも描かれている萬年橋を

渡り、俳人松尾芭蕉の座像が置かれていた芭蕉庵史跡展望庭園や芭蕉や俳文学関係の資料等を展示している「芭蕉記念館」を見学した。そして、一行は深川めしで有名な「みや古」で舌鼓を打ち、尾車部屋、高田川部屋、大嶽部屋(旧大鵬部屋、鍛山(シコロヤマ)部屋などの相撲部屋を見学(\*残念ながら稽古場等の見学はできなかった)した後、東京都の指定名所の一つである「清澄庭園」(\*江戸時代の豪商「紀伊國屋文左衛門」の屋敷跡と伝えられており、その後、明治の政商で三菱財閥の創業者「岩崎弥太郎」が取得し、関東大震災後に岩崎家から東京都に寄贈された)を散策し、また寛政の改革で知られる松平定信の墓所(靈巖寺)などを巡りました。

今回の探訪ツアーは、芭蕉のゆかりの地で、「おくのほそ道」の旅の出発地となった東京都江東区深川界隈の名所・旧跡などの探訪として企画・立案されたものですが、その内容は盛り沢山なものでした。ところで、私は、故郷「宮城」を離れて40数年が経過しましたが、そのほとんどの期間は東京都内及び神奈川県内に住んで勤務しました。そして、14年前から江東区内に住んでおり、近くには、今回見学しました芭蕉ゆかりの場所などあることは知っていたものの、日々の仕事に振り回され、歴史をたどるといったことまでできませんでした。また退職後も、「近場なので、いつでも見ることが出来るわい。」「そのうち行ってみよう。」と、いつい先延ばしの状況にありました。そんな折、今回の探訪ツアーが企画され、参加しましたが、数々の場所を訪れて見学等することができ、学ぶところも多く、新たな知識を得ることができました。特に、芭蕉については、ある程

度の知識はあったものの、伊賀の国(三重県伊賀市)で生まれ、29歳で江戸に移ったことなど、その生い立ちを知ることができたことや、19歳で俳諧に親しむようになり、41歳を過ぎると「野ざらし紀行」や「おくのほそ道」を始めとした旅に出て、多くの名句や紀行文を残していることなどを知りました。

また「おくのほそ道」の旅に出発したのは46歳の時で、江戸から奥州・北陸等を経て美濃の国(岐阜県大垣市)に至る約600里(約2,400キロメートル)を約150日で旅していることなど、新たな知識として蓄積されることとなりました。

今回の探訪ツアーにおいては、数多くの場所を巡り、総歩数は約1万7,000を数えましたが、70歳を超えられた諸先輩方ともども、参加者全員がゴールすることができ、新たな発見にも出会うことができました。また、本部等から参加された皆様ともお話しする機会を持つことができました。

今回の探訪ツアーの企画・立案に当たられ、また、ご苦労された皆様方に感謝申し上げますとともに、次回の企画に期待いたします。

### 「深川の芭蕉庵・清澄公園界隈の探訪」に参加して

昭46年卒 芳賀 明洋

今年で4回目になりました江戸・東京探訪会に初めて参加させていただきました。

今回の目的は、江戸東京の下町史跡を訪ね、いにしえに思いを馳せることです。当日(10月21日)は台風21号の影響もあり、あいにくの雨模様となりました。

私は、宮城古川駅を早朝に出発し、集合場所である水天宮ロイヤ

ルパークホテルに向かいました(久しぶりの東京なので地下鉄半蔵門線に乗るのに少し時間がかかりました)。1階ロビーには既に参加者が集合しており、談笑されておりました。学校からは、高橋教頭先生と富田先生が参加されました。初対面の方々もいましたので、お互いに自己紹介をしてから下町探訪ツアーに出発しました。

午前中は、国の重要文化財に指定されている清州橋や安藤広重や葛飾北斎の絵でも知られている萬年橋を通り、芭蕉座像などを見学しました。傘をさしての散策になりましたが、事務局の佐々木恭次さんから史跡名所の説明を受けました。歴史的背景を理解することができました。また雨でかすんでみえました墨田川の風情を感じながら散策することができました。

芭蕉座像見学後、芭蕉庵跡でもある芭蕉記念館を訪れました。ご存知のように、松尾芭蕉は延宝8年(1680)、それまでの宗匠生活捨てて江戸日本橋から深川の草庵に移り住み込み、この庵を拠点に新しい俳諧活動を展開し、多くの名句や「おくのほそ道」などの紀行文を残しました。記念館内には、私たちのほかに見学者が訪れており、関心の高さを知ることができました。

芭蕉記念館見学後、昼食をとるために老舗「みや古」に足を運びました。3階に上がり、深川名物「深川めし」をいただきました。あさりが入り、温かくとても美味しかったです。また参加者の皆さんと昼食を食べながら懇親を深めることができました。

午後は相撲部屋界隈などの散策です。私が楽しみにしていたところ市米山町は、第三代丸山権太左衛

門(本名は芳賀銀太夫と云います)の出身地です。

最近では、稀勢の里が横綱になり、相撲ブームが続いております。余談になりますが宮城県出身の横綱は4人います。前述しました第三丸山権太左衛門、第四代谷風梶之介(仙台出身)、第九代秀の山雷五郎(気仙沼出身)、第十八代大砲万右衛門(白石出身)です。丸山・秀の山は江戸時代活躍した強豪力士ですが、大砲は明治時代に活躍した力士です。深川富岡八幡宮に歴代横綱の碑があります(数年前に見学してきました)。

相撲部屋界隈を散策していますと、元関脇寺尾の綴山(シコロヤマ)部屋や、そのすぐ近くに「大鵬部屋」があることに気がきました。残念ながら、雨天のためか力士が歩いている姿は目にするのはできませんでしたが、昔ながらの深川と力士とは切ってもきれない関係のある場所だったと思えました。力士にとっては第二の故郷かもしれません。

相撲部屋界隈散策後、都立清澄公園に移動しました。清澄公園は、岩崎家三代が築いた名石の庭です。元々は江戸の豪商、紀伊國屋文左衛門の屋敷跡と伝えられており、明治に入り、岩崎家が取得して造園計画が開始されました。清澄公園は歩いていると各地の名石が随所に配置されています。さながら「石庭」の観がします。また池にはいろいろな野鳥がゆったりと泳いでいます。亀も水の中から顔を出していました。どの角度からみても絵になる素晴らしい名園でした。

清澄公園は、都立文化財に指定されており、都立文化財にはその他に8庭園があることを知りました。機会がありましたら是非観賞してみたいと思います。最後に寛政の改革で有名な松平定信

(靈巖寺)と紀伊國屋文左衛門(成等院)の墓所を見学しました。歴史的一幕をみているようでした。そして、清澄白河駅で皆さんと別れを惜しみながら解散しました。今回、深川芭蕉庵・清澄公園界隈を探訪しましたが、散策してみると路地の一角に稲荷神社が各所に祭られていました。きっと昔も今も地域住民の心の拠り所となり、大切にされてきたのだと思います。また、下町の旧所名跡にふれたり同窓生の皆さんと懇親を深めたり、充実した一日を過ごすことができました。

### 古川高校同窓会総会報告

#### 古川高校同窓会総会報告

8月5日(土)に古川の芙蓉閣で同窓会総会が開催され、160人ほどが出席されました。

在京同窓会からは鹿野会長、佐々木事務局長、高橋顧問と4名が出席いたしました。

今年度の同窓会では、役員が大幅に改選され、かなり若返りとなりました。新会長には東北大理事で医学部教授の伊藤貞嘉氏(昭47年卒)が選出されました。12年間会長を務められた渡邊義之氏は顧問となりました。渡邊会長、長い間お疲れ様でした。

また、渡邊会長から、今年度は古川高校創立120周年にあたり同窓会としても母校の諸記念事業に対する支援を行う考えで、現時点で寄附金は200万円程度集まっており、半分程度は在校生に還元したいとお話もありました。新会長の伊藤貞嘉氏の講演は「一

期一会」というテーマで、米山町の農家に生まれた伊藤会長自身の生い立ちから、中学時代の先生、米国留学時代などの人との出会い、多くの人に支えられ、それに答える努力をして信頼関係を築いてきたことが、国際的な学会賞などの受賞つながったというご自分の人生について紹介されました。

「二期一会」に表現されるように新会長のとて誠実な人柄と人材育成に対する熱意が感じられた講演でした。

同総会には浅野悟校長に代わり、4月から石越町出身の金 和弘新校長や中島源陽県議会議長や菊池 恵一県議など多くの議員や行政の方々が出席されており、古高出身の皆さんが地元で頑張っている姿が感じられました。

残念なのは在京同窓会も同様ですが、共学になって12年、女子の卒業生も出ているのですが参加者がいりません。仕事を始めて、業務の習得や恋愛・結婚などで忙しい年代で無理もないのですが、若い人たちが参加したい同窓会作りの難しさを改めて感じました。

同総会終了後は、昭和34年同期が渡邊会長の慰労会を古川駅近くの「三陸」(社長の井上氏は昭42年卒)で行い、在京組も楽しませていただきました。

大友 文博(昭42年卒)

### 「空手」2020年 東京オリンピック種目に決定

決定

東京オリンピックに空手が正式種目に決定され、大変喜ばしい限りです。

私は全日本空手道の千葉市空手道連盟及び千葉市少年空手道連盟

の常任理事をしており、また自分  
で森谷塾を運営しておりますので、  
この機会に私の塾の考え方や空手  
道について紹介いたします。

森谷塾は今年で33年になりました。  
振り返れば走馬灯の如く駆け  
抜けた感がありますが、空手を通  
じ、全国にたくさんの方の恩師と知人  
を得ることができ、仕事をしていた  
時代は多くの取引先の獲得につ  
ながり、大過なく仕事を退くこと  
ができました。

私は小さい頃からスポーツが大  
好きで、野球や水泳などを経験し  
てきましたが、空手道を選んだのは  
「生涯の敵は己にあり」という  
教え、武士道の世界に惹かれたか  
らです。武士道精神とは「勝軍の  
将兵を称え、敗軍の将自らをいさ  
める」ことであり、武士道は道徳  
にも通じると考えたからです。

森谷塾の空手は、人に勝つため、  
人を殴るための空手ではありません。  
家族空手を推奨し、人とのつ  
ながりを重視するものです。現在  
は美浜地区を中心に、子供から大  
人まで50名ほどの方が参加してい  
ます。

中でも特に小学生が多く、稽古  
場である体育館では元気に駆け  
回って遊んでいます。稽古開始  
を告げると一転、すぐに全員整列  
し、体育館にはピンとした緊張が  
走ります。空手は「礼に始まり、  
礼に終わる」というように、言葉  
通り、稽古は挨拶から始まります。  
稽古場の体育館にもしっかりと挨拶  
し、準備体操を始めます。

準備体操には他の競技で役に  
立っているものも積極的に取り入  
れ、縄跳びや綱引きなども取り入  
れながら瞬発力やタイミングを計  
る力を付けさせています。

受け、攻撃、連係動作といった  
基本動作の稽古を行っています。森  
谷塾ではこの毎週の稽古の他に、

年に1回昇級試験や昇段試験があ  
り、県や市の大会にも参加してい  
ます。

空手は痛いんです。痛みを自分  
の身体で知ること、相手を労わ  
る心が生まれます。空手をやって  
いるという自負心から、森谷塾に  
はいじめっ子もいじめられっ子も  
おりません。

空手を通じて知り合い、町で  
会ったときにも挨拶したり、声を  
かけたりして親しくなっていまし  
ます。自然と年上の子供達は、年下  
の子供の帯を締め直してあげるな  
ど、年下の面倒を見るようになって  
いきます。地域の連携が叫ばれ  
る昨今、このような空手を通じる  
ことにより、人とのつながりを作  
り、それを大事に育てていきたい  
と思っております。

来年古希を迎えますが、身体が  
続く限り頑張りたいと思います。  
末筆ながら、母校の益々の発展と  
先輩諸氏及び御同輩、そして在校  
生諸君のご健勝活躍を期待申し上  
げます。森谷 里美(昭和42年卒)



塾生達と

### 築高同窓会東京支部 総会参加報告

7月1日(土) 昨年同様、千代田  
区竹橋のKKRホテル東京にて築館  
高校同窓会東京支部総会が開催さ  
れ、鹿野会長と、昨年に引き続き、  
私も参加させていただきました。

現栗原市内の縁のある高校(岩ヶ  
崎、若柳、一迫商)の同窓会の方々  
も参加されており、全体で100名  
以上の参加者で、女性は三割ぐら  
いでした。

#### ミニ講演会

昨年も報告しましたが、古高同窓  
会と異なり、講演会が先です。今回  
は、築館女子高校OGの獣医師であ  
る安藤良子氏が講師で、演題は「人  
生はひよんなこと(の連続です)」。

高校卒業後、地元を離れ、東京の  
獣医学部に進学し、卒業後、厚生省  
の予防医学研究所の技師としてキャ  
リアをスタートさせ、南アフリカで  
の獣医としての留学生生活、アルゼン  
チンで研究員生活を送るといった非  
常に珍しい経験をされてきた方で、  
現在、栃木県小山市で動物病院を経  
営しながら、市議会議員を長らく務  
めてらっしゃる明朗・活発な女性で  
す。

「偶然・たまたま」が重なって、今  
に至る自らの経験をおもしろおかし  
く話していただき、あつという間に  
時間が過ぎました。

#### 総会

支部長挨拶の前に、来賓の紹介が  
あります。支部長挨拶の後に来賓の  
挨拶です。

平成28年度の活動報告、収支報告、  
監査報告の後、収支悪化により年会  
費を2000円から3000円に値  
上げする旨の提案がなされ、承認さ  
れました。同窓会の収支悪化につ  
いてはどこも同じ問題を抱えているこ  
とを実感しました。

#### 懇親会

全員が円卓に着席した形式です  
ので「楽」です。ただ、話をする人  
が固定化されてしまうという面もあ  
り、立食形式との比較では一長一短  
かもしれません。また、食事はテー  
ブルごとにサーブされるので、歩き  
まわる必要がなく、これも「楽」で  
はあります。

今回は、現役築高生の兄と中学生  
の弟二人の「錦兄弟」という日本舞  
踊のユニットがアトラクションの目  
玉でした。

高三の兄は祖父の影響で始めたそ  
うで、芸歴は15年に及ぶプロの「芸人」  
でもあります。古高の同窓会にはな  
い華やかな雰囲気でした。

最後の校歌・応援歌の斉唱ですが、  
昨年も報告したとおり、校歌は、旧  
制築館中学、築館高校、築館女子高  
校(新)築館高校の四種類あります。

このうち、旧制築館中学の校歌の  
作曲者は、古川高校の校歌の作曲者  
と同一の田村虎蔵東京音楽学校(現  
在の東京藝術大学)教授でした。

こういったところにも兄弟校なら  
ではの繋がりがあつことを発見する  
ことができました。亀井明(昭55年卒)



校歌応援歌の斉唱

古川へお越しの際は  
お立ち寄りください

**三味本店**  
海鮮居酒屋 創業1972年  
海鮮居酒屋 一筋!  
代表取締役 井上 秀隆  
昭和42年卒

セントラルパーク ●NTT 古川駅より徒歩4分  
エクセルイン古川  
ホプラザ ●五反田  
ゲオ ●七十七銀行 交番  
ルートイン 古川駅前 ●郵便局  
東横イン古川

宮城県大崎市古川駅前大通2-3-6  
☎0229-22-0025  
11:30~14:00・16:30~24:00  
年中無休 12台  
http://www.sanriku.net/

MOTOR SPORTS OIL  
**FORTEC**

エコオイルからレーシングオイル開発に携わり、  
国内、海外展開をしている。  
FORTEC モータースポーツオイル発売元  
耐久レース、ラリー、ダートトライアル、ジムカー  
ナ等のサポートドライバーが大活躍しております。

代表取締役 渋谷 誠一(昭和42年卒)  
**フォルテック株式会社**  
〒270-1108 千葉県我孫子市布佐平和台4-5-23  
TEL 04-7189-4117 FAX 04-7189-2687  
<http://www.fortec-oil.com/>

MOTOR SPORTS OIL  
**FORTEC**  
RACING  
**HYPER**  
SAE 10W-60  
RACING GRADE

会員通信

29年度総会返信ハガキ通信欄から

「大崎」氏の由来と栄枯盛衰は一度読んでいただけは判りませんが、何回も読んでいただきたいと思います。何かあると「伊達政宗」だけ出てきますが、それまでの大崎の大崎地方での活躍があったからこそ大崎の言葉が残っているのでしょう。サイカチの話は、子供の頃、親から聞かされたのを憶えておりました。(S18野村喜太郎)
今年から職を辞し、フリーにしております。米寿に達しました。元気に暮らしております。(S22松本慶蔵)
体力保持のため、シルバートレーニングに通い、またボケ防止上、囲碁、水墨画、マジック等で元気で多忙な日々を送っております。(S24小林 昭)
今年を重ねると想定外の奇病になることがあるもので、目下モートン病という足指間神経が変形骨と接触して痛みあり歩行困難。近々手術予定。他は異常なく元気でです。(S24齋藤 馨)
外出が思うに任せずのため、長いこと出席していませんが、往時交流の各位の記憶のもと、母校と同窓会の弥栄を祈念しております。(S24三浦澄能)
退職してから十数年もたち、老々介護中でのんびり生活です。(S26柏倉亮夫)
41年警視庁に勤めて平成5年春退職したら、次に長男が同席を33年春定年と言ひ、早いものです。(S27鈴木桂吾)
社長だった夫が死亡した為、妹がその後社長を務めている会社(第一警備保障㈱)の顧問となり手伝いをしていきます。(S26角田啓輔)
12月の誕生日を迎えると84歳となります。腰痛水泳教室や脳トレパソコン教室に通ったり、在宅の折は趣味の園芸で毎日を送っております。(S27氏家明朗)
毎日暑さの中30分ほど歩いてます。スマホに切替えて約1ヶ月、使い方に苦労しています。写真はピンボケばかりです!!(S28早坂明久)
当マンションの第2回修繕委員会の顧問をします。工事開始は平成30年1月の予定です。(S29関口 記)
民俗学領域の屋号、道標、碑を調べ、記録しています。(S29湯本良師)
日立市高齢者クラブ連合会の会長として頑張っております。(S30尾崎光彦)
眼病と体力低下で不自由しております。(S30佐々木 豊)
5月半ばに4日位、難聴になりました。全てが静寂の中だった(骨伝道を除き)。先生見

てみましょう、詰まっていますね」と

クライン。数秒でトンネルが通じたように室外の音も聞こえて来た。鼓膜が振れない程詰まっていたのだ。一応元気で、3つの写真も真面目に実働員として関わり、自分の写真制作とともに多忙です。休日を作る努力をしています。(S30塚田容三)
年相応にガタが来て、10株ほどの野菜の成長を、囲碁に専心しながら楽しみに待つこの頃です。(S30手島篤郎)
昨年は我が家の庭にメジロが巣作りをして無事3羽のヒナを育てて巣立ちをしました。今年も期待しておりますが、一。(S30横山 武)
体力の低下が確実に起っているのにオーバートレーニング気味に動き、翌日は整形外科に駆け込んだりし、歳を上手にとる難しさを感じる昨今です。(S30和田勝義)
今回の講演は特異な演題で拝聴するのを楽しみます。特に将来展望につき興味津々です。(S31相澤昭男)
スポーツ吹矢の指導員をしています。寝込まない日をすこせる様努力しています。暑いのが益々きつくなっています。(S31石川勝夫)
78歳、元気にグラウンドゴルフ、民謡と毎日のように忙しく飛びまわっております。(S33小堺 勉)
日常生活は散歩等して暮らしております。(S34村上金吾)
2年前大病を患いましたが、元気に海釣り、野菜作りを楽しんでいます。(S35黒岩弘一)
町田男声合唱団に入って17年、合唱を楽しんでいます。(S36伊藤清功)
還暦野球登録5年目。最近漸く首都圏の相手チームから「あの年までは」と目標にされつつあります。同年以上の現役が殆どいなくなり、淋しい限りです。今、9試合で27打数12安打、打率0.271、9得点、11盗塁。守備は3BがS.S.。失策ゼロ。80歳まで、やっちゃおうかも。(S36江崎 肇)
腰痛の治療で悪戦苦闘中です。(S36菅野俊次)
緑豊かな玉川上水路を五感を感じながら、休日にはどこから集まって来るのか、家族連れや、色々な人にすいこまれる様に歩く。時には道をはずれ、行ったことのない所に、体力づくりと思いつつ、近頃は足腰に違和感を。無理せず、散歩を日課にしている。(S36佐藤宗博)
軟式野球の普及に努めています。が、少子化の影響がチームの減少に現れています。苦心惨憺。(S37阿部 孝)
高齢者の健康生活の為に「読十笑百歌千書・万歩」があるそうです。頭と体をき

たえるというところでしようが、実行がむずかしい。(S38高坂クリニック 阿部重人)

卓球を週3回程度やっています。(S38菅原清春)
地域の高齢者を対象に生き甲斐・健康作りのボランティアをしています。(S38高橋忠世)
仕事とイタリア民謡にガンバッテいきます。(S39上野正司)
これまで、「健康だから仕事が出る」と思っていました。最近「仕事が健康を作る」と感じています。(S39社会保険労務士後藤雅正)
園児(3〜6才)の送迎バスの仕事も5年目になり、子供達から元気をもらっています。(S39こども園さんわ笹原誠一)
皆様との再会を楽しみにしております。特に、今川和彦先生のご講演が楽しみです。(S41JATAFつくば 高橋秀之)
韓国の代理店よりFORTEC RACING TEAMを拡販する為にFORTEC RACING TEAMを作り活動してくれています。(S42三浦和夫)
大崎市制10周年記念事業の一つ「市歌募集」に会員同級生が応募したので、意気盛に感じてこれに作曲し、勝手に「第二市民歌」と称して歌っています。(S42三浦和夫)
何時の間にか春が過ぎ、夏季に向かい白いシャツがまぶしく、感じられる昨今で、御座います。季節的に、牡丹と芍薬の次、バラが真っ盛りそして運がよければみを出します。上野界隈は四季折々の花が楽しめます。(S42森谷里美)
昨年、米国東部四大都市を巡ってきました。歴史の浅い国ながら、何事も世界一を自負する。学問、芸術文化等に学ぶべきものがありました。(S44岡村 明)
今年3月末で河北新報関連連合会を退きました。実家の岩出山と仙台を行き来しながら、農業見習いに励んでいます。(S45岩瀬昭典)
特に変わりありません。65歳、月日の過ぎるのが早く感じられます。望郷、生活出来るか自信なく、川崎で暮らしています。(S46遠藤 孝)
昨年11月に中新田中学校卒の還暦祝いの同級会を松島でやりました。360名中98名が参加。すでに30名位の仲間が病死。健康第一です。(S50静岡原赤十字血液センター 柳川公明)
大型自動二輪とスキーにはまっています。(S55ソニー生命保険 亀井 明)
横浜に転勤して来て6年が過ぎました。そろそろ転勤もありません。(S55PL教育 菅野知幸)
本年4月より、山梨大学教育学部になりまして。元気です。(S55鈴木健之)

「鹿野軍勝会長 叙勲のお知らせ」

鹿野軍勝会長(昭29年卒)
叙勲のお知らせ
鹿野軍勝会長が長年の外交官(元バチカン大使)としての功績で「瑞宝中綬章」を授与されました。
会員一同お祝い申し上げます。

- 安倍善次郎氏(昭20年卒)
平成29年2月10日
工藤英三郎氏(昭25年卒)
平成29年4月13日
福富 啓祐氏(昭29年卒)
平成29年2月28日
大曾根秀憲氏(昭36年卒)
平成29年5月14日

情報処理のエキスパート 完成図書・デジタル化総合サポート
専任スタッフ・有資格
CALIS/ECインストラクター 10名
電子化ファイリング 6名
文書情報管理士 1級 9名
2級 15名
CAD利用技術者 2級 3名
SXF技術者 2級 1名
電子納品作成支援 おまかせください!
代表取締役会長 早坂清吉(昭和29年卒)
株式会社ケーヨー http://www.keyo.co.jp E-mail:info@keyo.co.jp
本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-1-6
☎03-3242-0191 FAX03-3242-0167

お知らせ
第25回 旧古川市内四校関東同窓会「新年の集い」
【25周年記念コンサート】～心に咲く思い出のメロディー～
出演:コーラスグループ「アンサンブル・コノハ」
テノール=佐藤直幸(松山出身 古高田9年卒 東京藝術大学大学院声楽専攻卒)
\*古高在学中、全日本学生音楽コンクール第3位入賞。東京藝大定期演奏会でテノールソロ。数々の舞台出演の他、サラブライトマンのバックコーラスも務める。
テレビ東京「カラオケバトル」では、魅力的なシルキーヴォイスを披露した。
ソプラノ=中村萌子(フェリス女学院大学声楽学科卒、ミュージカル女優、歌手。
テレビ東京「カラオケバトル」優勝者。)
アルト=齊藤亜里紗(フェリス女学院大学声楽学科卒、クラシックの他ポップス、弾き語り等、ライブ活動も行っている。)
バリトン=田中 研(東京藝術大学声楽科卒、在学中に安宅賞を受賞、伸びやかな高音が持ち味、コノハの万能選手。)
曲目(予定):「有楽町で逢いましょう」「学生時代」「見上げてごらん夜の星を」「青葉城恋歌」「乾杯」「また逢う日まで」「川の流れるように」他